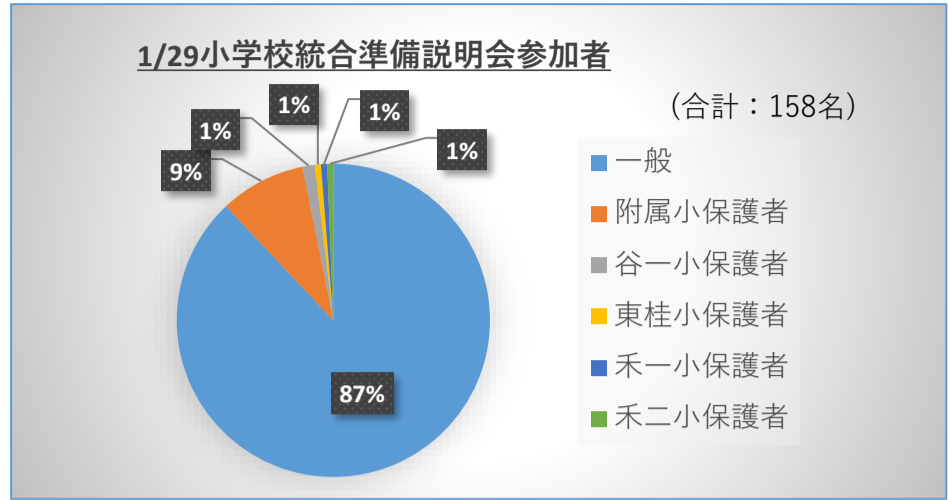


小学校統合準備説明会 アンケート集計

【参加者】

附属小保護者	14名
谷一小保護者	2名
東桂小保護者	1名
禾一小保護者	1名
禾二小保護者	1名
一般	139名 (※内：附属小新1年生保護者 4名)
合計	158名

■アンケート回答総数：107件  
(回収率 67.7%)



○ 都留文科大学附属小学校保護者

ご意見・ご質問内容	回答・対応方針
・今まで受けられていた「英検Jr.」は統合後も受験することができるか。	教育課程特例校として、英語特区を谷村第一小学校へ引き継ぐことで「英検Jr.」の受験についても継続の方向で検討してまいります。
・登下校のスクールバス利用について、具体的に説明してほしい。	ルート及び乗降場所（停留所等）の設定、利用者数の確認、乗降時刻の設定、学校時間割調整、下校利用時の対応等、他校での利用状況も確認する中でバス運行事業者と調整を図っていきます。また、保護者説明会等で進捗状況等の共有を図るなど、十分な協議をしてまいります。
・附属小児童が学童保育を利用する場合、統合後は谷一の学童保育を利用することになるか。	放課後児童クラブ（学童保育）については、旧旭小学校の事例もあり、保護者の皆さんの意見を聴取し、ご希望があれば、都留文大附属小学校区で対応できるよう計画してまいります。 また、令和6年度から放課後子ども教室を新たに開設する予定ですが、統合後も放課後児童クラブ（学童保育）とも連携する方向で計画してまいります。
・附属小、谷一小保護者並びに児童への説明会と質問ができる場を設定してもらえないか。	計画にも示させていただきました通り、都留文科大学附属小学校児童への説明会と谷村第一小学校児童への説明会を今年度中に実施する計画です。また、令和6年度になってからとなりますが、両校保護者や地域の皆様の意見や質問を受ける場を設けてまいります。
・人数が多ければ、学力が上がるとは思えない。少人数の方が、先生方の目も行き届きやすいのではないか。	これからの時代には、知識の蓄積だけでなく、どのように学び、他者と意見を練り合うことで解答を導き出していく力が求められる状況にいかに対応するかが重要となります。また、基礎基本の定着に加え、これまで学校教育で目指していた主体的に学ぶ力の育成や協働的に課題を解決する能力を高めるための「主体的、対話的で深い学び」の実施が求められています。その学びを展開するためには、ある程度の学習集団規模が必要だと考えており、個々の学びが定着するよう、複数の教職員による支援や少人数グループでの学習など、様々な対応を行えることが必要であると考えております。
・統合先は、谷一小でなければならないのか。	本市の「適正規模／適正配置基本方針」による統合先として、同一中学校区の小学校と統合をするものとしています。その場合、谷村第二小学校との統合という選択肢もありますが、児童数が既に100人を切っており、今後も減少が進む中で統合を検討する可能性があるため、谷村第一小学校を統合先としています。
・旧旭小のアンケート結果を見て、子供にどのように説明したらよいか不安になった。（いじめが無いことを願いたい）	教育委員会において、児童向けの説明会を行う中で児童の考えや思いを確認していきたいと考えております。 また、谷村第一小学校との交流などのイベントを地域全体で共有していける仕組みの構築を図りながら、準備段階からきめ細かく対応してまいります。 なお、現在谷村第一小学校では事故やいじめのない学校づくりを目指す国際セーフスクールの国際認証の取得を目指し、児童が中心となって活動しております。
・子どもだからと言って、すぐに仲良くなれるわけではない。子供のケアをもう少し丁寧に考えてほしい。（旧旭小アンケートのようにならないように）	多様性の時代と言われる現代においては、限られた人と強固な関係性を築くことが大切であると同様に、互いを尊重し目の前の課題に協働して取り組む資質能力が必要とされます。そのような「生きる力」を子供たちの成長段階に即しながら、仲間づくりを基本とした活動をいろいろな場面で経験させることで、少しずつ身に付けていけると考えます。個々の心に寄り添ってきめ細かく支援してまいります。
・統合後初年度の6年生の行事（修学旅行等）がたくさんある中で、上手く付き合えるか心配。	旧旭小学校の児童にも、同様の不安がありました。子供たちにとって大きな経験・活動において、互いを認め、尊重し合いながら、全体としての目標へ向かって協働して取り組んでいく過程において、連帯感ともいべき協働性も成長していく様子が見られました。互いに活動の成果を共有することで、大きな達成感も得られ、「同じ仲間」としての繋がりを深める機会となりました。子供たちの状況を丁寧に確認しながら、活動を計画してまいります。
・統合がわかっていたなら、最初から谷一小へ入学させればよかったと思う。（入学時に選択できたらよかった）※新1年生	学校統合において、急激な環境変化で子供たちに大きな不安を抱かせるのではなく、今後3年間の準備において、スムーズな学校生活に繋がれるように配慮してまいります。少しでも見通しをもって、多様な仲間と協働的に学びながら「生きる力」を高めていけるようきめ細かな支援を行ってまいります。

<p>・説明会の案内をいただき、初めて統合の話を聞いたので大変驚いた。子供達への説明を優先してほしかったと残念です。我が家は、今年度で卒業ですが、下の子供が今後入学を控えています。大規模校のメリット、小規模校のデメリットの話が多かったですが、私たちは小規模校で本当によかったと思っているので、悲しかったです。子供達への説明会では、大人数になることのよさを説明して安心させてあげて欲しいですが、少人数学校の否定的なことは言わないであげて欲しい。</p>	<p>小規模校には、小規模校としてのよさがあり、きめ細かい丁寧な指導を展開することができます。従来の基礎基本の定着に加え、これまでも学校教育で目指していた主体的に学ぶ力の育成や協働的に課題を解決する能力を高めるための「主体的、対話的で深い学び」の実施が求められています。その学びを展開するためには、ある程度の学習集団規模が必要だと考えており、個々の学びが定着するよう、複数の教職員による支援や少人数グループでの学習など、様々な対応を行うことが重要であると考えております。</p>
<p>・極小規模校の悪い面しかとらえていない。適正規模の悪い点には全く触れていない。(いじめ等の不安、人数が多いと自分の意見も言わなくなる)</p>	
<p>・統合に対するメリットはたくさん感じられましたが、子供たち自身はかなりの不安を感じ、実際に心配している。子供たちができるだけ安心できるように、納得のいく児童説明会をしてほしい。</p>	<p>計画にも示させていただきました通り、都留文科大学附属小学校児童への説明会と谷村第一小学校児童への説明会を今年度中に実施する計画です。</p>

## ○ 谷村第一小学校保護者

ご意見・ご質問内容	回答・対応方針
<p>・附属小は、現在、大学の知的財産を活用したり、地域との連携を深めたカリキュラムを実施できているか。</p>	<p>都留文科大学附属小学校では、附属校としての教育連携は計画的に進めていますが、少人数であるが故に連携内容に制限が生じてしまうのも事実です。谷村第一小学校を附属学校とすることで、今以上に大学の教育研究が学校への大きな支援となり、子供たちの学びに反映していけると考えております。</p>
<p>・スクールバスを使うとなると、今の登校班はどのような活用になるのか。</p>	<p>今後の学区再編成に伴い、登校班と地区割を検討していきます。特に、災害時対応においても重要な組織となりますので、学校とも協議し、検討してまいります。</p>
<p>・とても分かりやすい説明会だった。(アンケート調査、児童数の推移など)</p>	
<p>・これからの子供たちにとって、よりよい統合になることを願う。(一人一人を尊重し、多様性が求められるこれからの時代には、大人数での学びが必要だと感じた。)</p>	<p>子供たちにとって必要な学びの環境を、学校・家庭・地域との連携を図りながら整備してまいります。</p>
<p>・都留市には、大学が3つもあり地元の高校もあるのに、残る若者が少ない。(市としての施策を工夫して欲しい。)</p> <p>西桂町のように学童の充実(放課後の児童が生き生きと活動できる環境整備を計画して欲しい。習い事に頼らずとも、そのような経験ができる環境を市が整えて欲しい。)</p> <p>若者が働く場所(主婦が働ける場所が欲しい。)</p> <p>チームラボやアミューズなどのように、わくわくする企画が実行できるような企業等呼び込み、市を活性化させてほしい。吉本やファナックのような大企業の誘致を考えて欲しい。</p> <p>リニア関係などで、そのままになっているプール施設などの運営を市が担って、スポーツ教室などで活発な市になるよう考えて欲しい。</p> <p>公園や遊べる場所が少ないと住みにくい。科学館やアート館などを充実させて、市民や観光客も利用できる場所が必要。</p> <p>もっと大学の留学生との交流の場を設けて、生きた英語に触れられる機会をつくってほしい。(ホームステイ応援制度とか、都留市独自の取組を増やしてほしい。)</p> <p>学習塾に頼るのではなく、(子供たちが)平等にみんなで学力向上が図れるようにして欲しい。</p>	<p>今回は、子供たちにとって大きく環境が変化する「学校統合」について説明させていただきました。同時に、「教育首都つる」を実現するための構想を、未来を生きる子供たちの学びと成長を保障するための手立てとして示させていただきました。都留市としての教育財産の全てを活用し、本市独自の教育が展開できる環境を整えることで、少子化への歯止めとしていきたいと考えます。</p>
<p>・学校名が長くなり、子供たちが作文や校歌で校名を使うのに大変だと思う。</p>	<p>仮称とした「都留市立都留文科大学附属谷村第一小学校」については、今後検討してまいります。</p>

## ○ 当該学校区・地域関係者

ご意見・ご質問内容	回答・対応方針
<p>・附属小の新一年生(入学生)は、いつまで受け入れるのか。</p>	<p>現段階では、令和8年度入学生までは受け入れる予定です。</p>
<p>・少人数学級におけるメリット(きめ細かな教育や学力向上)、効果について示してほしい。</p>	<p>児童が少人数である分、児童一人一人には、よりきめ細かな指導として、個々の発達段階や成長段階に寄り添った支援などが行えます。</p>
<p>・個性ある児童への対応、他所(地域外)から登校している児童への対応はどのようにしていくのか。その子供たちは、統合後にどのように登校するのか。</p>	<p>今後、学区の再編成を行います。区域外就学となる児童については、個々に対応していくこととなります。</p>
<p>・学童保育はどのようになるのか。働く保護者には無くてはならない場所として考えて欲しい。</p>	<p>放課後児童クラブ(学童保育)については、旧旭小学校の事例もあり、保護者の皆さんの意見を聴取し、ご希望があれば、附属小学校区で対応できるよう計画してまいります。</p> <p>また、令和6年度からは放課後子ども教室を新たに開設する予定ですが、統合後も放課後児童クラブ(学童保育)とも連携する方向で計画してまいります。</p>

<p>・附属小英語特区の成果を示してほしい。英語が好きなきが他校と比べてどうか。(附属小卒業生が)中学校での英語の学力はどうか。英語特区として児童数増加を目指していたと思うが、評価としてはどうだったのか。</p>	<p>都留文科大学へ全校児童で訪問し、外国人教員による英語の授業の体験やキャンパスツアーなどの大学との交流事業も実施しております。また、様々な国籍のALTと学んだことにより、外国文化に興味を持ち、積極的に様々な国の人たちと接する機会を生かしてコミュニケーション能力の伸長による英語を始めとした学習活動に前向きに取り組んでいるとの評価を進学先の中学校より報告を受けております。 なお、英語特区への指定校変更による入学者は毎年おりましたが、適正規模を維持する児童数には至っておりません。</p>
<p>・英語特区を継続していくことが本当にいいのか。(理数特区やスポーツ特区のような特例校は無いのだろうか)</p>	<p>グローバル化社会の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は非常に重要なことと捉え、教育課程特例校として英語特区を設定しております。1年生から英語を使った学習活動を行うことで、日常的に英語に触れる機会が増え、外国文化への興味や関心をもちやすくなり、英語力やコミュニケーション能力の向上につながるものと期待しております。 教育課程特例校とは、文部科学大臣が、学校教育法施行規則に基づき、学校を指定し、学習指導要領等によらない教育課程を編成して実施することを認める制度です。英語教育に限られるわけではなく、子供たちに必要とする教育(教科)を設定し、特例校として認可を受けます。ただし、全体の授業時間数は限られており、その分、他教科の時間を削減することとなるため、どのような教育を設定するかが重要となります。</p>
<p>・都留市の20年後の構想モデル(小中一貫校)では、3小学校、3中学校を目指すところでしょうか、他地域への啓発活動(説明)はいつごろから始める計画なのか。</p>	<p>今後、詳細な内容の協議に着手し、都留市の特色を生かした教育モデルの方向性が整った段階で地域への説明を進めていければと考えております。</p>
<p>・事前に谷一小へ通っている附属小学区の児童(学区外)は、統合後はスクールバスを使用できるのか。</p>	<p>今後、附属小学校区の児童を対象に、スクールバスの利用について検討してまいります。</p>
<p>・都留一中で谷一小と谷二小が一緒になるとすると、教育の格差が生じると予想できる。その対応はどのようにしていくか。</p>	<p>各学校における教育の特色は、地域の特色でもあります。今回示させていただきましたように、その特色の基盤として、幼保小中高大の連携のもと都留市教育を構築してまいります。</p>
<p>・将来、中学校の統合もあり得ると予想する。小中学校(連携、一貫教育)としての可能性についてはどのように考えているか。</p>	<p>説明会では、現時点での未来構想として提示させていただきました。今後の状況を丁寧に考察し、方向性を検討しながら計画してまいります。</p>
<p>・丁寧な説明でよかった。</p>	
<p>・もう少し丁寧に説明してほしい。</p>	<p>今回説明が不十分な点については、今後の学校・保護者等への説明の場で伝えさせていただきます。</p>
<p>・初めて統合計画の説明を聞きました。令和9年度ということで、まだ3年あります。今後、子ども、保護者、地域、学校などの関係者の意見を丁寧に聞きながら進めていって欲しい。</p>	<p>学校・家庭・地域それぞれの意見を受け取りながら、ロードマップで示させていただいた計画を基本に進めてまいります。</p>
<p>・少子化の状況では、(統合も)仕方ないと思う。</p>	
<p>・母校である都留文科大学附属小学校が統合されるのは寂しいが、児童数の減少状況を考えるとやむを得ないと思う。</p>	
<p>・しっかりとした基本方針でしたので、異議はない。</p>	
<p>・小学1年生が入学したてで、統合して(学校生活を)始めるのは難しいのではないかと心配である。</p>	<p>現在、各小学校においては、「小1プロブレム」と言われる状況に対し、新入児童がスムーズに学校生活が送れるよう、特別に「スタートカリキュラム」を設定しております。今後も幼保との連携のもと、引継ぎを丁寧に行い、個々にきめ細かな支援ができるよう対応してまいります。</p>
<p>・子どもの数が減少している(統合も)仕方ないと思うが、附属小に通っている子供たちのことを一番に考えて、ケアしてほしい。</p>	<p>両校の児童や保護者、並びに地域への説明や連携において、子供たちの状況や思いを丁寧に受け取りながら支援してまいります。</p>
<p>・統合する附属小の子供たちがスムーズに溶け込めるような取組をお願いしたい。(いじめが心配)</p>	<p>新たに、子供たちの仲間づくりが始まることとなります。互いを尊重し、他者意識をもたせながら、協働していくことで自己存在感・自己肯定感を高めていきます。そのためのきめ細かな支援を行いながら、安全で安心な教室・学校をつくってまいります。 なお、現在谷村第一小学校では事故やいじめのない学校づくりを目指すインターナショナルセーフスクールの国際認証の取得を目指し、児童が中心となって活動しております。</p>
<p>・スクールバス通学においては、児童の安全第一に進めていただきたい。(児童の安全確保を第一に考えて欲しい)</p>	<p>最優先課題として、取り組んでまいります。</p>
<p>・都留市が、教育課程特例校(英語特区)を推進していってくれるよう期待したい。(今後の教育課程特例校に期待する)</p>	<p>将来の学校構想を見据えながら、未来を生きる子供たちに対して、責任をもって学校環境の整備に取り組んでまいります。</p>
<p>・「クラス替えができる規模」というのは、とても重要だと思う。</p>	<p>互いに認め合いながら協働的に課題解決できる力、相手を意識しながら自身の考えをしっかりと伝えられる力…などを身に付けられる学習環境の整備とともに、仲間として多様なかわりかきもてる環境が大切だと考えております。</p>
<p>・小中一貫校であれば、高校も視野に入れるのがよいと思う。</p>	<p>今後は、高等学校との連携も協議していく中で都留市の特色ある学校教育に取り組んでいければと考えております。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>都留文科大学においても、今後を見据えた構想が必要だと考える。</li> </ul>	<p>本市の教育構想を実現していくためには、都留文科大学の知の資源を最大限活用していくことが必要となるため、都留文科大学とも更なる連携を深めていく中で、都留市の教育構想の実現に向けて取り組んでまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都留文科大学を活用した、小中連携の構想はとてもよいと思う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員が大変だという話から、今の子育て親世代も大変であり、そうなるとう家族が大変で子供が辛い時代だと感じる。「共育」に賛成。</li> </ul>	<p>急激な変革の時代を生きていく子供たちにとっては、見通しのきかない不安な状況だと認識しております。だからこそ、そのような社会を生き抜く力を身に付けさせることが、私たち大人の責務と考えます。そのための環境を整えられるよう皆さんと一緒に考えてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>統合ありきの説明会であった。当該校の子ども、保護者の希望や考えを聞いているのだろうか。</li> </ul>	<p>「適正規模／適正配置の指針」を策定する際に、多様な立場の市民の皆さんから意見をいただきながら、協議を重ねてまいりました。今後も学校改革については、子供たちの意見を聞くとともに、多くの方々の意見もいただきながら進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>今回示された指針等を考え、将来を生きる子供たちの教育や時代の流れに大きな不安を感じる。この大きな課題を広く深くとらえて今後の施策を考えていって欲しい。学力も大切だが、登校する子供たち、見送る保護者に対してもきめ細かい安心できるご指導をお願いしたい。未来予想図で示されたことは、他地域においても幼保小中の連携が必要な構図だと理解する。ぜひ、一人一人を大切に、しっかりと向き合った豊かな都留市であって欲しい。</li> </ul>	<p>先行き不透明な時代であり、大変重大で難しい課題であると認識しております。だからこそ、そのままにしておく訳にはいかないと考えます。子供たちに求める協働的なかわりと同様に、保護者や地域の方々と十分に協議しながら、子供たち一人一人にきめ細かい学習の場を提供していきたいと考えます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>附属小を継続した特色ある教育はよいと感じた。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(附属小を) 少人数特区や不登校特区として残すことはできないだろうか。</li> </ul>	<p>不登校の児童生徒が増え続けている現状においては、それに対応する施策も環境も充実させていく必要があります。一つの可能性として、統合後の校舎を活用した不登校児童等の受け皿を充実させるための環境を整備することも含め検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>旭小の実例を聞かせてもらって安心できた。先生方を信頼してほしい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な意見が出ていますが、学校統合の状況は都留市だけの話ではない。他に先駆けて、立派な統合ができれば、先見の明があったということになる。我々の時代は、1クラス50名でどのクラスにも「いじめっ子」が1人はいた。それでも不登校生徒は一人もいなかった。私たちは「ただ我慢するだけの昭和」でしたので、時代の流れを感じる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>統合校の仮称が長い。「都留第一小学校」でよいのではないか。</li> </ul>	<p>仮称とした「都留市立都留文科大学附属谷村第一小学校」については、今後検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の附属校とすることは理解できる。今後、谷二小も統合することが想定されるなら、校名を「都留文科大学附属 谷村小学校」としてはどうか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>20年後の学校構想実現のために、根本的には人口減をいかに食い止めるかに尽きる。特に、若者の移住を促進する総合的な施策の強力な推進が急務である。市役所内部の横断的な施策推進力が必要と考える。</li> </ul>	<p>少子化、人口減少対策は、本市「長期総合計画」においても大変重要な課題の一つとなります。今後の学校改革は、「地域のまちづくり」と捉える中で関係各課と連携して協議検討を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校統合ばかりでなく、子供を増やす施策も取り組んでほしい。(働く場所の確保、他地域からの受け入れ支援等で、親世代の増加により子供の増加、人口増加、都留市の活性化へ繋げていく)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(子供たちの安全確保のため) 県道沿いへの歩道設置を希望する。</li> </ul>	<p>通学路等の安全対策については、地域や保護者、学校からの要望を受け、県や警察等と検討しながら順次対応しております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スクリーンの画面は、文字が小さく見ることが厳しかった。会場ライトも暗くせずに資料を見て説明を聞きたかった。</li> </ul>	<p>ご迷惑をおかけしてしまいました。今後の参考にさせていただきます。</p>

○ 一般

ご意見・ご質問内容	回答・対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>この説明会への参加者は、どのような人選だったのだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該校(附属小、谷一小)保護者 ※都留文科大学附属小学校新入児保護者</li> <li>市内全小中学校保護者</li> <li>当該校及び市内学校教職員</li> <li>当該地区協働のまちづくり推進会</li> <li>両校学校評議員</li> <li>放課後児童クラブ(学童保育)</li> <li>市内幼稚園、保育園</li> <li>都留市議会</li> <li>都留市教育委員</li> <li>都留市の教育を考える会</li> <li>他当該校関係者</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校がなくなる地域の不安として、このような形で市民と行政、学校などがコミュニケーションを図りながら地域のコミュニティがよくなっていくことを望む。</li> </ul>	<p>現地域コミュニティの継続を基本とし、活性化を図ることのできる施策を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都留市の子供のことを大事に思い、「都留市の教育を考える会」に参加させていただいておりますことに感謝したい。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、素晴らしいと思える将来像を聴くことができました。そのためのステップとして、附属小の統合は丁寧に進めていって欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和20年度をめどに「義務教育学校」の設置を目標としてはどうか。</li> </ul>	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属小と谷一小の統合計画は、ゆとりがあり、理解できた。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の成長の様子を、より多くの市民に知ってもらえるような発信を、今以上に広くお願いしたい。</li> </ul>	ホームページやSNS、広報等を活用して、より広く発信してまいります。

## ○ 市内教職員

ご意見・ご質問内容	回答・対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの変更や変化を迎える統合開始にあたり、人的配置の手立てを2～3年前から実施してもらえるか。</li> </ul>	旧旭小学校、禾生第一小学校学校の統合を踏まえ、きめ細かな対応ができる体制について、人的な配置も含めて検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後も旭地区で学童があることが、保護者にとっては（地域にとっても）大変助かっている。同様に（下校時）スクールバスでの対応はできるか。</li> </ul>	現放課後児童クラブ（学童）については、継続していく方向で運営母体と協議してまいります。 スクールバスについても、放課後児童クラブ（学童）に対応できるようにいたします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（現状では）スクールバスの確保が可能か。バス台数（運転手確保）が足りるか心配。</li> </ul>	スクールバスの運行が確実に実施できるよう令和6年度より関係機関との協議を進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校や小中一貫校の実現性や校舎の耐久性など、今後の見通しをどのように立てているか。</li> </ul>	現時点では、構想案の段階であるため、具体的な計画については、関係機関と協議検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後の3か所の小中一貫校の建設はどのようにする想定なのか具体的に教えて欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生へのバカロレア教育は、どのようなものを想定しているのだろうか。</li> </ul>	都留文科大学国際教育学科において、バカロレアの教員免許状の取得が可能であるため、大学との連携に方向性を見出していくとともに、先進自治体の導入状況も参考にしながら検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都留市の将来に向けてのビジョンを示していただいたが、今後、この計画をどのような組織で協議し、全市へどのように周知していくのか。</li> </ul>	全庁的な組織のもと、地域、保護者並びに先生方と協議していく中で検討してまいります。なお、全市民に対しましては、広報やホームページ等で引き続き周知してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童説明会の具体的な内容を教えて欲しい。（説明の方向性）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を統合するということはどういうことか</li> <li>・何が、どのように変わるのか</li> <li>・どこの学校と統合するのか</li> <li>・登下校は、どのようにするのか</li> <li>・いつから谷村第一小学校へ通うのか</li> <li>・谷村第一小学校の学校名が変わること</li> <li>・旭小と禾一小の統合の様子について など</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R9年度の統合を見据えて、（附属小学区の子供が）入学先を附属小から谷一小へ希望することはできるのか。</li> </ul>	新入生への対応は影響も大きいことから、保護者の皆様と充分協議し対応を検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の附属小の建物や備品等の扱いについて教えて欲しい。</li> </ul>	基本的には、旧旭小学校の場合と同様の対応となります。統合前年度中に所有備品の洗い出しを行い、統合先の谷村第一小学校の希望を優先として市内各校の希望に合わせて移動することになると考えます。建物の利活用については、今後、協議してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が担う地域コミュニティのハブとしての機能をどのように継承していく計画か。</li> </ul>	現地域コミュニティの継続を基本とし、活性化を図ることのできる施策を検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学附属となるといくことは、教育実習が行われるということか。</li> </ul>	現在まで、市内における教育実習対応は教育実習連絡協議会において計画し、市内全学校での受け入れをお願いしているところです。今後の学校統合や学校改革の推進状況に合わせて、協議会での検討となります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校名が変わるといことは、谷一小校歌も変わるということか。</li> </ul>	正式校名は変わりますが、校章等も含め、校歌を変更する予定はありません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達にとって、よりよい統合となるようお願いしたい。</li> </ul>	子供最優先と捉え、丁寧にかつ確実に進めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（都留二中勤務）ある程度の人数や複数学級があれば、学習の広がりや交友関係の多様性でよい部分がある。遠距離バス通学や移動方法の確保と統合後の子どものケアを優先的に進めるようお願いしたい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合時期の計画が決まっているのであれば、校外学習（遠足や見学等）や宿泊学習（林間学校）、運動会などでも交流活動が実施できると考える。子供たちも、支える保護者達も、少しでも不安が解消できる取組を考えて欲しい。</li> </ul>	子供たちの交流事業については、両校児童の状況を把握する中で、保護者の意見も伺いながら計画してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス利用を新に取り入れる谷一小は、現在、市内でも利用している学校と連携しながら対応を進めていくとよい。</li> </ul>	貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>都留市教育の今後の方向性がよくわかりました。20年後の学校構想に賛成します。宝小、谷二小が気になることです。各校の維持経費の面からも早急に取り掛かるべきだと考える。</li> </ul>	<p>学校改革を推進し、子供たちの学習環境を整備するためには、本市としても大きな予算や確実に実現するための時間が必要となります。早急に取り掛かれる事業ではありませんので、諸課題への対応をきめ細かく行いながら、今から計画していかなければならないと考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育学校となると、グラウンドなど施設整備が必要になると思う。大規模な工事も計画的に段階的に進めていって欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>早い時期に説明会を行い、（統合へ向けての）ロードマップを示していただいたことで、教職員や保護者、だれよりも児童たちにどう支援していくのかを考えられる機会となった。</li> </ul>	<p>子供たちにとって、大変大きな変革となります。学校・家庭・地域の連携を強め、協働しながら丁寧に進めていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、このような機会において、市民、行政、教員の意見を聞いていただきたい。 児童、保護者、地域、教職員が混乱のないように話し合いながら進めていって欲しい。 今回のように当該校だけでなく、市内の人たちが参加できる説明会でよかった。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧な説明で、将来のイメージが湧いた。人口減少、学校統合は、避けて通れない課題だと思う。これを契機に、都留市の様々な立場の人々が、よりよい都留市の教育について考えることが大切だと考える。</li> </ul>	<p>「本市の子供たちは、全市民で育てる」を基本とし、当該校だけではなく、子供たちの教育をみんなの共通理解のもとで構築していかなければならないと考えます。今後も、多様なご意見をうかがいながら丁寧に協議し、進捗状況を発信しながら、確実に推進してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>次代を生きる、次代を創る子供たちに身に付けさせたい力を育てるための統合であると考え。子供たちをどう育てていくのか、この機会に行政と学校と保護者地域が連携、協働して目的や方向性を同じくして取り組んでいく必要があると改めて感じた。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>20年後の（都留市学校教育の）未来を描き、学校構想を提示できたことは大変意味があることだと感じた。統合ありきではなく、都留の子供たちの健やかな育ち、資質能力を身に付けることを中心に、魅力ある特色ある学校づくりを目指していることがよい。今後の状況により、対応を変化させることもあると思われるが、基本方針としては賛成できる。</li> </ul>	<p>子供たちに、今の時代に求められる「生きる力」を育てるためには、学ぶ環境を保障しなければなりません。少子化への対応としての学校統合は避けられない難題ですが、必要とされる今後の都留市教育の方向性をしっかりと見定めながら進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>20年後の都留市学校構想モデルに驚いた。都留市は大学との教育連携は強みではありますが、バランスの良い小中高大の連携が求められていると思う。</li> </ul>	<p>連携の本質をしっかりと見定めながら、本市の特色を生かした教育を確実に子供たちへ還元できるよう進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校統廃合は、地域コミュニティの崩壊を招く可能性があります。慎重に、最小限で行っていただきたい。</li> </ul>	<p>現地域コミュニティの継続を基本とし、活性化を図れる施策を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都留市の新しい学校像を構築するために、附属小の統合はその入口となる取組と理解した。都留市の教職員として、保護者や子供たちに寄り添って、説明していけるように尽力していきたい。</li> </ul>	<p>一例として今回示させていただいた教育改革は、行政だけ学校だけで実現できるものではありません。家庭も地域も含めた、市全体の協働ができてはじめて構築できる施策です。ぜひともみなさんの協力をお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「大きな学校だから」というメリットはよくわかったが、そこがクローズアップされすぎて「小さい学校だからこそ」という部分が忘れられていたように感じた。子供たちの過去が、あたかもマイナスの経験だったかのようにしないで欲しい。</li> </ul>	<p>小規模校は、児童が少人数である分、一人一人によりきめ細かな指導が行えます。個々の発達段階や成長段階に寄り添った支援により、基礎基本となる知識・能力も定着させることができます。今はそれに加え多様な人（仲間）と協働しながら課題を解決していく経験が必要です。多様な考えに触れることで、互いに理解し合い、尊重できる豊かな心を育てます。そのような学びが提供できる学習環境の整備として進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧旭小：統合後のアンケートは、児童、保護者の母数が少ないので、県内他地域や追跡調査（第2弾・3弾）の様子を知りたい。</li> </ul>	<p>旧旭小学校児童の状況については、今後も学校生活アンケートや保護者からの聴き取り等で丁寧に把握していきます。県内他地域においても学校統合の施策を推進している地域があります。本市とは状況が異なる部分（教育課程等）もありますが、情報としては確認してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保小中高大連携は、ぜひとも継続的に推進して行って欲しい。</li> </ul>	<p>今後、十分に検討しながら、更なる連携を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>20年後の学校構想に、大きな魅力を感じられた。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学を活かした、都留市独自の（教育）スタイルをつくり上げていって欲しい。</li> </ul>	<p>説明会でもお示したように、更なる「教育首都つる」の実現に向けて、しっかりと検討・協議しながら確実に進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の教育的実情から、20年後に市内3小中学校全てにバカロレアやSTEAM教育といった先進的な教育の実施は難しい部分あると思う。大学が全てをカバーできるだろうか。</li> </ul>	<p>国内における先進的な教育事例として、示させていただきました。本市の子供たちの実態を丁寧に把握するとともに、先進校の実践例等を確認しながら、大学との検討・協議を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>（跡地利用として）校舎を地域学習の拠点として活かしていって欲しい。体験学習のフィールドとして、地域人材や財産を活用して欲しい。そのためのコミュニティスクールの取組にしていきたい。</li> </ul>	<p>現在、旧旭小学校施設の利活用方法を検討しております。都留文科大学附属小学校においても、同様に家庭や地域の意見をうかがいながら、子供たちにとって、地域にとって有意義な活用を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>都留市の子供たちが自信をもてるような学校づくりを進めていって欲しい。</li> </ul>	<p>今回、そのための本市教育構想として、事例をあげさせていただきました。子供たちにとって、やりがいも成就感も感じられ、都留市で学べてよかったと実感できる教育を提供してまいります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・（児童数）人数が増えるといくことは、教員等の確保が必要である。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（禾一小としては）旧旭小から教職員が配置されたことは、児童を十分に理解している点で、（児童支援として）大きなプラスとなっています。ぜひ、（統合時には）人的配置と支援員配置をお願いしたい。</li> </ul>	<p>小規模校の利点でもある一人一人に寄り添ったきめ細かな支援が継承できるよう、教職員の配置についてもできる限り対応してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（禾一小の現状としては）「旭小から来た子供たち」という捉えはもうない。友達と手をつなぎ、歌を歌ったりしています。みんなで認め合い、学級役員にも立候補しています。保護者との連携も、1学期以降丁寧に行っています。子供たち同士をつなげるためにみんなで協働していくことが大切である。</li> </ul>	<p>旧旭小学校・禾生第一小学校統合における取組をしっかりと振り返りながら、都留文科大附属小学校・谷村第一小学校の統合に生かしていきたいと考えます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正化基本方針の内容を知ることができてよかった。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たち教員は、どんな場面においても「子ども第一」で指導していきます。</li> </ul>	<p>学校だけに対応していただくのではなく、行政も家庭も地域も一緒になって対応していけるような取組を目指してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明がとても丁寧でよかった。調査結果の提示もあり、説得力のある説明だった。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス利用について、今後、具体的な説明をお願いしたい。</li> </ul>	<p>令和6年度以降に開催する保護者説明会にて、具体的に説明させていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の学校名が長いと感じた。「都留市立都留文科大附属谷村第一小学校」と何かの資料に書かなければならないとすると、とても大変だと思う。</li> </ul>	<p>本説明会にて仮称として示させていただきましたが、今後、関係者との協議において検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の校名は、どのように決まっていくのか気になる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（説明会に向けて）事前に保護者等から質問意見を出してもらってはどうか。</li> </ul>	<p>貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間がないのはわかりますが、挙手を求めたのであれば、全員に発言させてほしかった。</li> </ul>	

#### ○ その他・市内保護者等

ご意見・ご質問内容	回答・対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学安全のため、歩行者専用道路を増やしてほしい。（寿町バイパス等）</li> </ul>	<p>通学路等の安全対策については、地域や保護者、学校からの要望を受け、県や警察等と検討しながら順次対応しております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの成長を見守ることが、何より（大切）だと考える。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都留市の教育に関する考え方がよくわかる有意義な説明会であった。私自身は市外出身だが、どの地域も少子化に伴う深刻な人口減少の時代に入っている中で、市全体で都留文大の強みを活かした魅力ある教育体制が構築できれば、市外からの移住者の増加につながるのではと嬉しく思う。強いて述べれば、未来の学校構想モデルは、20年後といわず、もっと早期に進めていただきたい。少子化のスピードに追従していく必要がある。</li> </ul>	<p>「オール都留市」として、本市の子供たちは全市民で育てるを基本とし、当該校だけではなく、子供たちの教育をみんなの共通理解のもとで構築していかなければならないと考えます。今後も、多様なご意見をうかがうとともに丁寧に協議し、進捗状況を発信しながら、確実に推進できるようにいたします。</p>